

事務連絡
令和6年1月15日

関係各位

大分災害リハビリテーション推進協議会（大分 JRAT）
代表 針 秀太
（JCHO 湯布院病院 院長）

令和6年能登半島地震に伴う災害リハ支援活動への派遣協力について（お願い）

謹啓 新春の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。いつも当会の活動に対し、ご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、この度、令和6年1月1日に発生した「令和6年能登半島地震」による被災者へ災害リハビリテーション支援を行う協力依頼を以下の如く申し上げます。

当該支援活動については、先日、日本災害リハビリテーション支援協会より別添資料の内容にて派遣要請がございました。大分 JRAT では、1月11日（木）に緊急世話人会を開催し、大分県内の関係者に対し、災害リハ活動へ派遣要請をすることになりました。

つきましては、別紙の関係資料をご確認の上、災害リハ支援活動を希望される方は大分 JRAT 事務局までご連絡いただきますよう、お願い申し上げます。

なお、本部 JRAT および石川 JRAT からの情報では、活動の長期化が予想されています。被害は甚大であり、十分な支援が届いていません。しかし、現地は水道や電気、道路も復旧していない地域が点在していることに加えて寒冷地です。余震も続いています。安全第一を基本に活動することは大前提ですが、事故への心配もございます。くれぐれもこれらの点をお考えの上、活動意向についてご連絡いただきますこと、重ねてお願い申し上げます。

謹白

（添付書類）

| | |
|------------------------------------|----|
| 令和6年能登半島地震による JRAT 活動への派遣について（お願い） | 1枚 |
| 大分 JRAT 災害リハ支援活動希望者説明会のご案内 | 1枚 |

以上